

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報の発令について（送付）

このことについて、平成16年度病害虫発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

## 注 意 報

平成16年度病害虫発生予察注意報第3号

平成16年8月10日  
熊本県病害虫防除所長

農作物名	ダイズ、野菜類、花き類
病害虫名	ハスモンヨトウ

### 1 予報内容

- (1) 発生地域 県内全域
- (2) 発生時期 8月以降
- (3) 発生程度 平年比 多

### 2 注意報発令の根拠

- (1) 8月1半旬に県内のサトイモほ場16カ所を調査した結果、平均寄生株率は34.9%（平成11～14年度平均：19.5%）と過去4年の中で最も多かった（表1,2）。また、幼虫の齢期も過去4年の平均では若齢幼虫（1～2齢）が最も多いのに対し、本年は中齢（3～4齢）が最も多く、発育が進んでいた。
- (2) フェロモントラップにおける雄成虫の誘殺数は、合志町（生産環境研究所）ではほぼ平年並に推移しているが（図1）、鏡町（い業研究所）では7月1半旬から急増し、7月4半旬にピークとなった後、8月1半旬まで多く推移している（図2）。
- (3) 7月5半旬に行ったダイズにおける発生予察巡回調査では、ヨトウムシ類による平均被害株率3.7%（平年0.1%）とやや多く、今後もダイズでの被害が拡大すると予想される。
- (4) 以上のことから、本年のハスモンヨトウの発生量は多く、また発生時期も早いと考えられ、今後、ダイズ等での被害が平年より早い時期から増加すると予想される。なお、気象予報によると、8月の気温は平年より高く、降水量は平年並の予想であり、本種の発生に好適な条件である。

### 3 防除上注意すべき事項

- (1) 若齢幼虫は集団となって食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、卵塊や白変葉（若齢幼虫によるダイズの被害葉）を見つけしだい捕殺する。また、本年はダイズへの飛来が平年より早まると思われるので、防除適期を逃さないよう注意する。なお、平年の8月の平均気温（熊本市）27.9 から予想される有効積算からの発育日数は、卵：3.6日、幼虫：14.9日、蛹：9.8日である。
- (2) 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低いため、早期発見に努め、防除効果の高い若齢幼虫期に薬剤散布を行う。
- (3) 農薬の使用にあたっては、農薬ごとに定められた使用基準を守り、安全な農作物の生産に努める。

**表1 平成16年度のサトイモほ場におけるハスモンヨトウの発生状況**

調査日	調査場所	寄生株率 (%)	50株当り卵塊・幼虫数(塊・頭)			
			卵塊	若齢	中齢	老齢
8/3	熊本市秋津1	68.0	1	0	408	119
8/3	熊本市秋津2	4.0	0	0	0	2
8/3	熊本市供合1	8.0	1	100	0	8
8/3	熊本市供合2	58.0	0	0	606	262
8/3	宇土市走潟	8.0	2	100	1	1
8/3	城南町杉上	8.0	4	0	0	0
8/3	富合町新1	22.0	3	59	139	16
8/3	富合町新2	72.0	2	602	669	207
8/3	玉名市伊倉	80.0	20	578	179	3
8/3	鹿本町中富	80.0	0	200	419	70
8/3	菊池市森北	16.0	0	0	384	1
8/3	大津町陣内1	80.0	0	47	393	48
8/3	大津町陣内2	22.0	1	36	34	0
8/3	西合志町黒松	28.0	0	0	112	0
8/3	嘉島町六嘉1	2.0	0	0	40	0
8/3	嘉島町六嘉2	2.0	1	0	0	0
平均値		34.9	2.2	107.6	211.5	46.1

\* 各ほ場 50 株調査、発生ほ場率は 100%

**表2 過去4年(平成11~14年度)のサトイモほ場におけるハスモンヨトウの発生状況**

調査年	調査日	調査地点数	寄生株率 (%)	50株当り卵塊・幼虫数(塊・頭)				発生ほ場率 (%)
				卵塊	若齢	中齢	老齢	
H14	8/1 ~ 2	15	29.7	0.6	205.5	143.0	21.4	93.3
H13	8/6 ~ 7	17	15.3	0.4	134.5	64.9	1.4	76.5
H12	8/2 ~ 3	9	23.3	0.4	249.2	64.0	1.2	88.9
H11	7/30・8/3	9	9.8	0.0	80.1	92.0	0.3	88.9
平均値			19.5	0.3	167.3	91.0	6.1	86.9

\* 各ほ場 50 株調査、平成 15 年度は調査無し

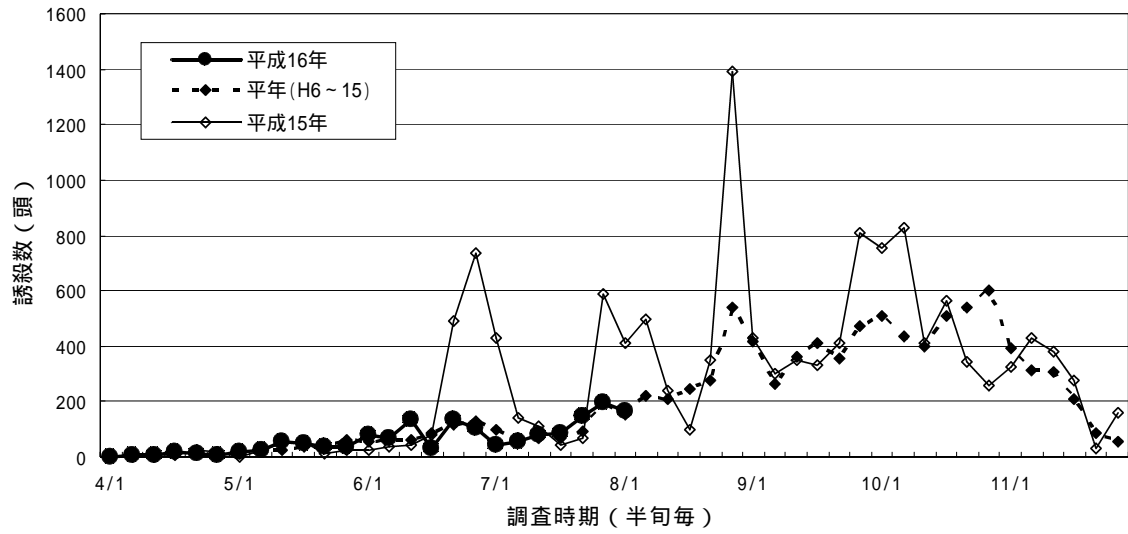


図1 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数(合志町)

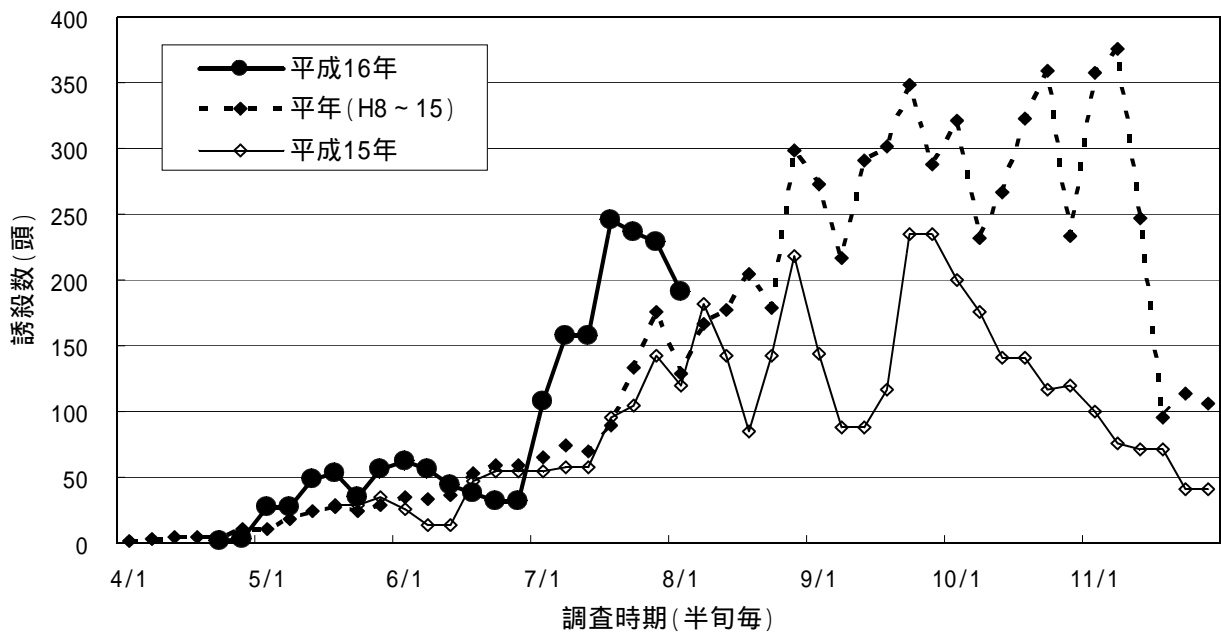


図2 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数(鏡町)